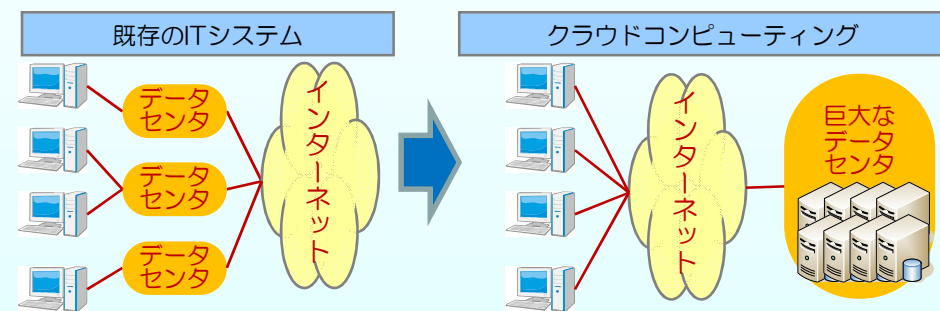


# クラウド時代に併せたIT人材の育成について

- 今後、我が国における持続的な成長を支え、国際競争力を維持していくため、特に成長が期待される分野としてクラウド・コンピューティングによるサービスの展開が挙げられる。
- IT人材として、仮想化や分散処理といったクラウド基盤の構築・運用に必要なスキルを備えた高度人材と並んで、ユーザ側でクラウド・サービスを利用したアプリケーションやサービス開発、情報システム構築を行うスキルに長じた人材など、クラウド時代に併せた人材像及び身につけるべき知識・技能について具体化した育成方法を検討することが重要ではないか。

## 概要

クラウド・コンピューティングとは、自らはITを「所有」せず、ネットワークを通じて必要な分だけ「利用」する形態。



## 特徴

### <コスト削減>

- 運用保守費・ライセンス費等の固定費を大幅に削減可能

### <開発期間短縮>

- 事前に準備された環境を利用することにより、開発期間を大幅に削減可能

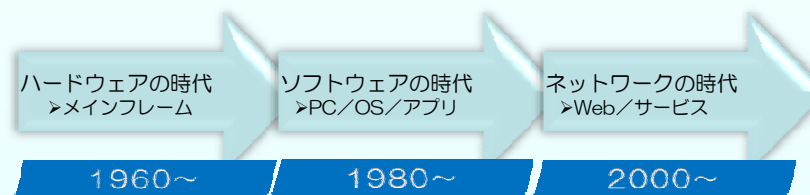
### <ユーティリティ化>

- 要求に応じて増減するデータを高速・安価に解析可能

## クラウド・コンピューティング発展の背景

### <技術的背景>

- ネットワークが高速化・低廉化
- 複数サーバの集約化を可能とする仮想化技術が実用に
- 分散処理技術が高度化
- 巨大データセンタの運用・保守に関する技術・ノウハウが高度化



### <産業的背景>

- シーズンオフ時のコンピューティング資源を有効活用
- B to Cサービスの頭打ちにより新たな成長分野を検討
- 不景気等によりIT投資が減少し、低コストのシステム調達が必須に
- 複雑な既存システムを整理し、運用・保守を効率化

# クラウド・SaaS時代に求められる人材像(案)

- ストラテジスト、マーケティングなど戦略系の人材、及びサービスを組み合わせトータルなソリューションを実現するアーキテクトの需要と重要性が増す。
- クラウド、SaaSベンダーでは技術的に高度なITスペシャリスト、カスタマーサービスの人材が必要になる。
- 反面、開発主体の人材(プロジェクトマネージャー、アプリケーションスペシャリストなど)の需要は減る。

	職種	人材需要	高度スキルの必要性	
戦略	ストラテジスト マーケティング コンサルタント	↑	↑	・ITの活用用途、活用範囲が拡大するため、ITをどう活用するか、を考える人材はユーザ側、ベンダー側共に重要。
構築	ITアーキテクト ISアーキテクト	↑	↑	・サービスを組み合わせでソリューションを作る人材は重要。
	プロジェクトマネージャー	↓	→	・大規模個別開発自体が減少傾向。
	ITスペシャリスト	→	↑	・クラウド、SaaSベンダーは性能実現のため高度な技術者の存在が必須。 ・OSSの利用が主体。
	アプリケーションスペシャリスト ソフトウェアディベロップメント	↓	→	・大規模個別開発自体が減少傾向。
運用	カスタマーサービス	↓	↑	・インフラ運用がクラウドベンダーに集中。運用には高度な技術者が必要。 ・OSSの利用が主体。
	ITサービスマネジメント	↑	→	・IT活用の用途拡大に伴い、アプリケーション運用のニーズは拡大。

本資料における人材需要などの動向予測については、未だ検討段階であり調査分析等による指標ではありません。

- ・ 膨大なコンピューティング・リソースを活用した新サービス創出を促す、クリエイター及びベンチャー企業の育成支援
- ・ ユーザサイドにおいては、クラウドの特徴を正しく理解し、生産性を最大限向上させるために必要なIT投資を判断することの出来るCIO、ビジネスストラテジスト、中小企業などの育成支援
- ・ ベンダサイドにおいては、システムアーキテクトやスペシャリストなどの育成支援
- ・ クラウド関連技術の標準化を主導できる人材の育成支援
- ・ クラウド時代のデータセンタを高信頼に運用するための、運用・保守技術者の育成支援